

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校教育目標 明るく 正しく たくましく ～自ら学び、共に生きる子どもの育成～

研究主題 自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成
～日常生活に生きて働く言葉の力を高める国語科指導の工夫・改善～

＜本年度の学力向上策＞

1 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用

- ① 全国学力・学習状況調査の問題を全教員で取り組み、国が求める児童像を分析する。
- ② 分析結果を課題研修に反映させ、実態にあった授業実践を行う。

【各学年1本の国語科研究授業の実施】

【『よい授業』アンケートの「児童・生徒活動」の項目で平均3.2以上】

2 「自分の考えをもち、豊かな言葉で表現できる子どもの育成」にむけての授業実践

各学年1本の国語科研究授業や日々の取り組みから、3年間の課題研修をまとめる。

視点1 児童が主体的に学習に臨む単元計画の工夫

- ① 相手や目的を明確にした課題づくり
- ② 自信をもって学習に臨むための学習過程
- ③ 学習のゴールを明確にするモデル教材の活用

視点2 自分や友達、教材との対話から考えを深めるための工夫

- ① 目的にあった思考ツールの活用
- ② 意図的なグループ編成と交流内容
- ③ 成果を確かめ次回のめあてをもつ振り返り

視点3 日常生活に生きて働く言葉の力につなげていくための工夫

- ① 他教科や領域との関連
 - ② 全校での取り組みをいかした指導
- 【自分の思いを伝えられる児童 75%以上】
【時・場にあったよりよい表現方法を選んでいる児童 75%以上】

3 家庭・地域と連携した学校としての学習環境の整備

- ① 研修の取り組みを、授業という形で地域・家庭に公開する。
【学校公開日の全学級国語授業公開】
- ② 朝の活動の様子や、学年での取り組みを地域・家庭に公開する。
【朝読書、言語活動、読み聞かせの様子のホームページ掲載 3回】

＜本年度の振り返り＞

- 1 ○各学年1本の研究授業・協議を行い、児童が主体的に学ぶことができるよう研究を深めてきた。その成果もあり、「よい授業」アンケートの児童・生徒活動の項目で平均3.32を得ることができた。
- 2 ▲6月の時点で「自分の思いが伝えられる」という児童はどの学年も75%以上いた。しかし、12月に行ったアンケートでは、その数値が下がった。これは、自分本位に伝えるだけでは、「相手にうまく伝わらない」ということに気付いてきたからだと考えられる。この課題意識をもとに、さらに学習を発展させられるような授業を計画していきたい。
 - 「時と場にあったよりよい表現方法を選んでいる」という意識をもつ児童が90%以上おり、表現方法に気を付けて自分の気持ちや考えを表現していることが伺えた。
- 3 ○2回の学校公開日のうち、どちらかに国語の授業を全学級で組み込み、地域の方や保護者にも研究の成果を広く示すことができた。
 - 朝の言語活動の時間を確保し、学習した内容を繰り返すことで、力の定着を図ることができた。

